

令和元年度 1・2年生進路講演会

1月16日(木)6・7限に駿台予備学校から講師をお招きして、生徒対象進路講演会が行われました。演題は「難関大学現役合格に向けて」というもので、内容は①大学・入試を知る、②学習・模試について、③大学入学共通テストについて、の3点を中心に各学年それぞれ50分間講演をしていただきました。

現2年生にとっては、新たに大学入学共通テスト(新テスト)が始まる学年となります。このテストに関しては、紆余曲折ありましたが、今までの入試形態がすべて変わってしまう訳ではなく、いわば「マイナーチェンジ」であること、そして、日頃の授業を大切にして、少々の変更にも影響されない本物の学力をつけることが大事であることを話していただきました。

また、データでは、現役合格者の勝因の1位が「最後まで諦めなかった」とあるのに対して、不合格者の敗因の1位が「基礎学力の不足」であることも当たり前のことながら、再度確認しておきたいところです。加えて、昨年度は大学入学後再受験しているものが3万人近くもいるという事実も注目しておきたいところです。

途中段階の成績や実力を見て、「入れる大学」を探すのではなく、粘り強く成績・実力を上げる努力を続けること(最後まで諦めない!)が「入りたい大学(第1志望の大学)」に合格することにつながる」と強調されていました。この進路講演会を通して自分の進路や学習を見直すきっかけとなれば幸いです。

◆ 講演会の様子



駿台千葉学校 三浦 遼 氏



資料を片手に真剣に耳を傾ける